

 보건복지부 질병관리본부		報道資料 (即時報道)			
配布日		2016. 8. 31. / (計 4 枚)			
疾病管理本部	感染症管理課	課長	チョ・ウンヒ	電話	043-719-7120
		担当者	イ・ヒョンミン		043-719-7116
	危機対応総括課	課長	ホン・ジヨンイク		043-719-7190
		担当者	キウ・ジヨンヨン		043-719-7207
	感染症監視課	課長	イ・トドンハ		043-719-7160
		担当者	チョ・スンヒ		043-719-7165
	水因性疾患課	課長	クァク・ヒョソン		043-719-8111
		担当者	ホン・サヒョン		043-719-8115
慶尚南道	保健課	担当主事	キム・ジェソン	055-639-6132	
		担当	キム・ミギョン	055-639-6133	
巨濟市保健所	保健課	所長	チョン・ギマン	055-639-6100	
		担当	オ・インキュ	055-639-6132	

国内 3 例目のコレラ患者発生

- ◇ 8 月 30 日、3 例目のコレラ患者の確定診断を受け、疫学調査及び防疫措置の強化に向け、疾病管理本部から防疫官を現地投入
- ◇ 疑い患者の申告遅延に対して嚴重対処 - 医療機関調査及び告発措置
- ◇ 地域社会における下痢患者の監視強化
- ◇ コレラ予防手続遵守を再び強調

□ 疾病管理本部（チョン・ギソク本部長）は、3 例目のコレラ患者が発生したことにより、防疫官を現地に投入して疫学調査及び防疫措置を遂行することとした。

○ 今回の患者は、疾病管理本部の水溶性下痢患者の監視強化措置で発見されたケースで、

- － 患者（64 歳、男）は 8 月 24 日、下痢で巨濟(コジエ)市所在の「チョン内科」に来院して点滴治療を受けたが、病状が悪化して、
- － 8 月 25 日、巨濟市所在の「デウ病院」に入院して治療を受けたが、ひどい脱水による急性心不全となり、

ー8月26日に釜山所在の「東亜大学校病院」の救急室に移送され、集中治療室で集中治療実施後、8月30日に病状が好転したが、コレラと確認され隔離治療中である。

ー接触者調査の結果、密接接触者の妻（61歳）は下痢病状があったが、コレラ菌検査の結果は「陰性」であった。現在、患者が訪れた病院での接触者たちを把握しているところである。

□患者から分離したコレラ菌は血清学的に「O1」で毒素遺伝子を有しており、生物型は「El Tor」型と確認された。また、最初の事例及び2例目と同一の遺伝子型かどうかを確認するために遺伝子指紋分析（PFGE）を行っている。

□迅速な状況対応及び管理に向けて、疾病管理本部の防疫官が接触者及び環境検体を含む疫学調査及び防疫措置を総括的に遂行しており、

○慶尚南道庁、巨濟市保健所との緊密な協力による地域社会における下痢患者の発生監視の強化と中央・自治体間の24時間業務連絡体系を維持しており、

○さらに、環境検体の回収及びコレラ菌検査実施のため、食品医薬品安全処と業務協力を推進する予定である。

□一方、前回の報道資料などを通じて医療機関は水溶性患者の来院時にコレラ検査を実施し、疑われる時は早急に保健所に申告することを要請したにもかかわらず、疑い患者に対する申告が遅延したことに関連して、

○「感染症の予防及び管理に関する法律」による感染病患者などの申告を怠ったものであり、保健所による当該病院に対する警察告発措置などを検討することを明らかにし、

○コレラ患者が発生している巨濟地域を中心に、コレラ疑い患者の来院の際は早急に保健所に申告することを再度要請した。

* 「感染症の予防及び管理に関する法律」第11条により、感染病患者などを診断した場合には、早急に保健所長に申告しなければならない、違反時は罰金200万ウォン

□疾病管理本部は、コレラ予防に向けた以下の予防手続きを遵守することを再度強調した。

○国民は、「1. 30秒以上正しい手洗い、2. 水は沸かして飲む、3. 食べ物は煮て食べる」を実践しなければならない、

○一日数回の水溶性下痢病状が発生した患者の場合、即時に医療機関を訪問して診療を受け、

- 医療機関は、水溶性下痢患者の来院の際にはコレラ検査を実施して、コレラが疑われる場合は早急に保健所に申告し、
- 食品接客店は、食品接客業管理者の遵守事項の履行及び営業者・従事者などの個人衛生管理の遵守、活魚水槽の清潔などを維持しなければならない。

添付：3例目のコレラ患者の疫学調査概要

□認知経緯

- 2016年8月30日、慶尚南道巨済居住の64歳男性が8月24日に下痢病状で来院し、疾病管理本部の水溶性下痢患者の監視強化措置によるコレラ検査を行った結果、陽性と確認され、申告された。

□疫学調査結果

○日付毎の患者の経過

- (8.19~20) 巨済所在の市場でイワシとイカを購入して自宅で摂取
- (8.21) 下痢の開始
- (8.24) 下痢病状が発生して、巨済所在「チョン内科」に来院して点滴治療を受けたが病状悪化
- (8.25) 釜山所在の「東亜大学校病院」救急室に移送、集中治療室で集中治療を実施
- (8.30) 病状が好転して一般病室に移されたが、コレラと確認(8.24のチョン内科の検査依頼)され、隔離治療を実施中

○接触者情報(8月30日基準)

- 妻は下痢病状があったが、コレラ菌検査を実施した結果は「陰性」であり、
- 患者が利用した病院の医療関係者、職員、来院者など接触者を確認中